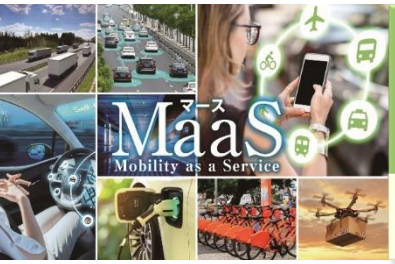
nikko am
Nikko Asset Management

Fund Information
販売用資料

2021年5月14日
日興アセットマネジメント株式会社



グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）
グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（年2回決算型）
愛称：グローバルMaaS（1年決算型）／（年2回決算型）

足元のパフォーマンスとARKからのメッセージ

※ 当資料において、「1年決算型」は「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）」、「年2回決算型」は「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（年2回決算型）」を指します。

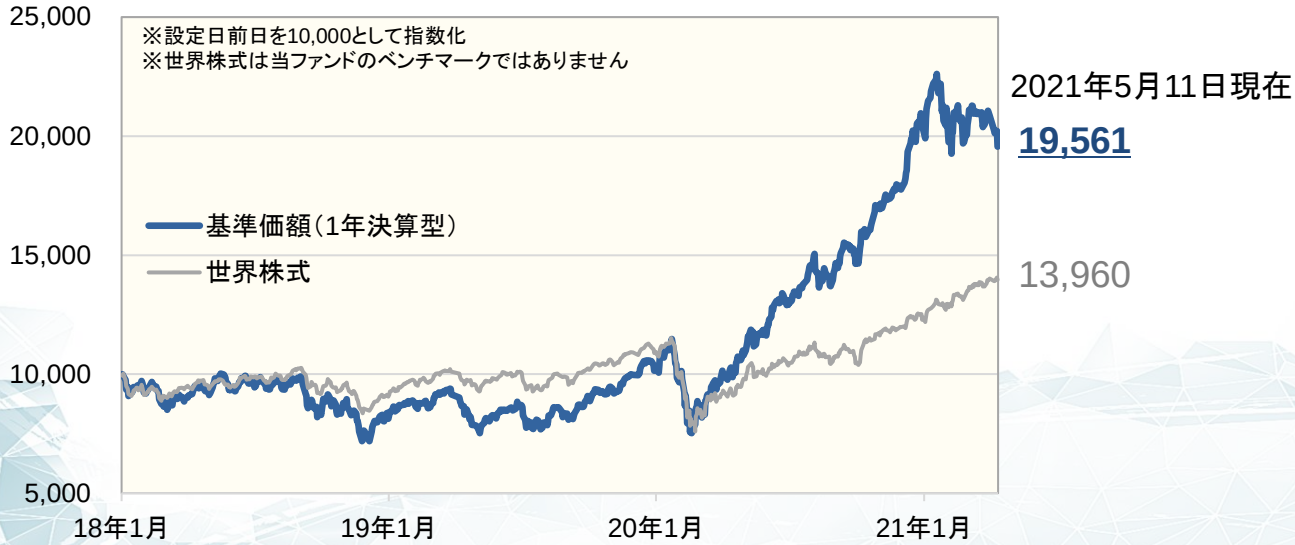
足元のパフォーマンスについて

■ 米国では、大型経済対策が成立したことや、新型コロナウイルス向けワクチン接種の進展を受け、景気回復期待が高まっています。しかし足元では、インフレ懸念の高まりから米長期金利の先高観が意識されたことに伴ない、高PER（株価収益率）のハイテク株を中心に株価が大きく値下がりました。

■ こうした投資環境のもと、当ファンドの基準価額は2月後半以降、軟調な推移となっています。次ページで、足元の状況と今後の見方について、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なっている、アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（ARK）の見解をもとにご紹介します。

1年決算型の基準価額推移

（2018年1月31日（設定日）～2021年5月11日）



※基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。
世界株式：MSCI AC Worldインデックス（配当込、米ドルベース）の値を、基準価額の算出方法に対応させるため、前営業日の値に当日の為替を適用して円換算。
信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様に「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）／（年2回決算型）愛称：グローバルMaaS（1年決算型）／（年2回決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ARKからのメッセージ　～市場の変化を受け、改めてお伝えしたいこと～

・当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なう、
ARKの見方をお伝えします。

ARK INVEST

Catherine D. Wood
（創業者、CEO / CIO（最高投資責任者））

破壊的イノベーションへの見方は不変、下落局面を好機と捉える

【破壊的イノベーション】既存の技術やノウハウの価値を破壊し、全く新しい商品やサービスを生み出すもの

足元の市場では、消費者物価の上昇などからインフレ懸念が高まっていますが、前年比で見た物価上昇率には、昨年のコロナ・ショックで暴落した水準と対比した結果、つまり、大きく下がった水準との比較となり、いわゆる「ベース効果」による影響が大きく出ているとみられます。また、企業がロックダウン期間に溜まった消費需要に追い付こうと生産を急増させており、いずれ過剰生産となって、需給が緩むとみています。こうしたことから、大幅な物価上昇は「一時的に過ぎない」と考えています。

一方でこの先、物価上昇は、イノベーションがもたらす2つのデフレ要因で緩和される可能性が高いと考えています。一つは、イノベーションの普及に伴なう急激なコスト削減により、イノベーション関連企業が生産性を向上させ、収益を増加させながら販売価格を引き下げる可能性です。もう一つは、技術革新が既存の事業環境を破壊するなかで、足元で進むイノベーションへの対応を怠る従来型企業が、売上維持のために販売価格の引き下げを余儀なくされる可能性です。

株式市場では、成長戦略重視から景気循環や割安重視に投資戦略の転換が進み、相場が上昇を続ける基盤が拡大・強化されています。これは、かつて見られた、ハイテク株や通信関連株だけにけん引された行き過ぎた上昇相場などに比べ、はるかに健全な動きです。この先、破壊的イノベーションが普及し、さらに複数のイノベーションの融合が起こることで、イノベーション関連企業が大きな市場シェアを獲得する可能性が高まっています。そうした中、投資家が従来型企業のリスクを織り込み始めれば、イノベーション関連企業が再び注目を集めることになると考えています。

なお、中長期で良好なリターンを獲得するためには、相場下落時の行動こそが重要であると考えています。ARKでは、下落局面を好機と捉え、確信度の高い銘柄の買い増しを助言するなど、中長期的に高い収益の獲得に寄与することをめざします。

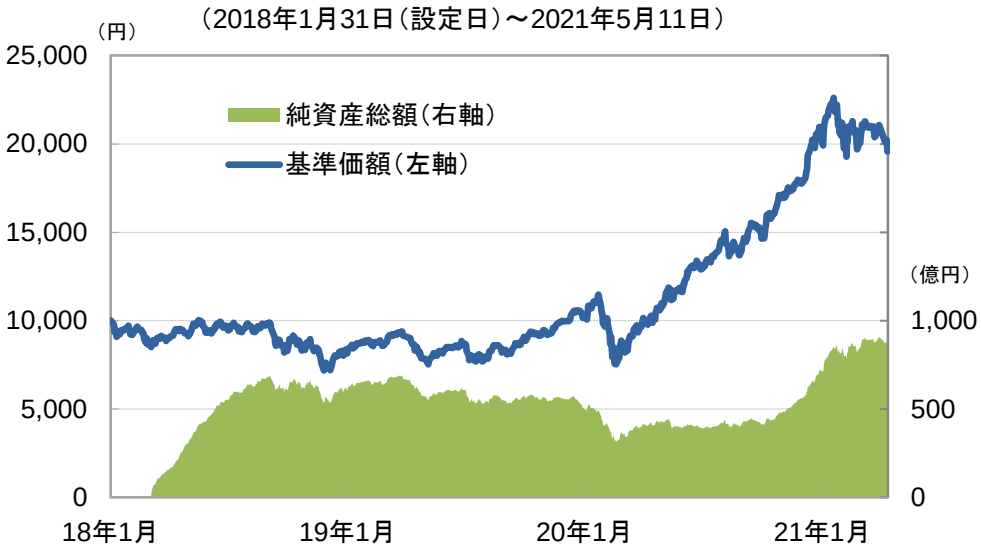
ARKは破壊的イノベーションへの投資において、足元ではなく数年先の姿をみています。投資家の皆さまには、短期的な値動きに一喜一憂せず、少し先を見据えた中長期の投資対象として、引き続き当ファンドをご愛顧いただければ幸いです。

上記は、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なっているアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（ＡＲＫ）のコメントなどをもとに、日興アセットマネジメントがまとめたものです。見解などは資料作成時点のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様に「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）／（年2回決算型）愛称：グローバルMaaS（1年決算型）／（年2回決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

設定来の基準価額・純資産総額の推移

1年決算型

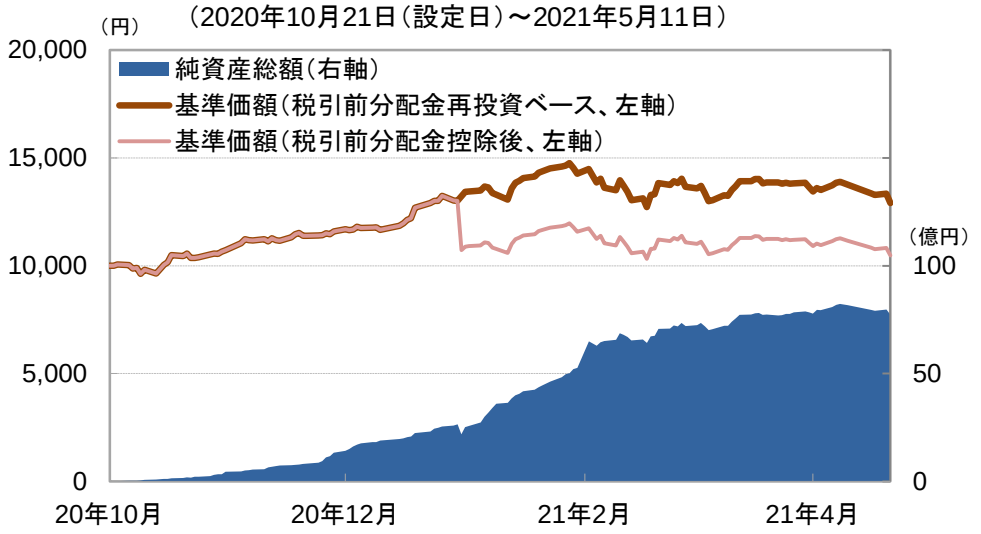


基準価額
19,561円
純資産総額
850億円
2021年5月11日現在

分配金実績

2019年1月	0円
2020年1月	0円
2021年1月	0円
設定来合計	0円

年2回決算型



基準価額
（税引前分配金再投資ベース）
12,915円
（税引前分配金控除後）
10,474円
純資産総額
77億円
2021年5月11現在

分配金実績

2021年1月	2,500円
設定来合計	2,500円

※基準価額は信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。
※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様に「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）／（年2回決算型）愛称：グローバルMaaS（1年決算型）／（年2回決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

nikko am
Nikko Asset Management

Fund Information
販売用資料

以下は大和証券でお申込みの場合です。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	100円以上1円単位※または、100口以上1口単位 ※購入時手数料および購入時手数料にかかる消費税等相当額を含めて上記の単位となります。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	＜1年決算型＞2028年1月20日まで（2018年1月31日設定） ＜年2回決算型＞2028年1月20日まで（2020年10月21日設定）
決算日	＜1年決算型＞毎年1月20日（休業日の場合は翌営業日） ＜年2回決算型＞毎年1月20日、7月20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	＜1年決算型＞ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ＜年2回決算型＞ 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準が1万円（1万口当たり）を超えている場合には、分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます。 ※基準価額の1万円超過額（1万口当たり）について全額分配をめざすものではありません。また分配金額が少額となる場合があります。 ※分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
スイッチング（乗換え）	「1年決算型」と「年2回決算型」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お客さまが直接的に負担する費用＞

購入時手数料	購入金額に以下の手数料率（税込）を乗じて得た額とします。 購入金額 ／ 手数料率（税込） 1億円未満 ／ 3.3% 1億円以上5億円未満 ／ 1.65% 5億円以上10億円未満 ／ 1.1% 10億円以上 ／ 0.55%
スイッチング手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜お客さまが信託財産で間接的に負担する費用＞

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.925%（税抜1.75%）
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社	受託会社	三井住友信託銀行株式会社
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク	販売会社	大和証券株式会社　ほか

お申込みに際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

●当資料は、投資者の皆様に「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）／（年2回決算型）　愛称：グローバルMaaS（1年決算型）／（年2回決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。 ●当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。●投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。 ●分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。 ●投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

大和証券株式会社

金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第108号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、投資者の皆様に「グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）／（年2回決算型）愛称：グローバルMaaS（1年決算型）／（年2回決算型）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。